

(様式第1号)

新規調査研究計画書（全体計画）

調査研究課題	茨城県における SFTS ウイルス等モニタリング調査
担当者	上野恵、新堀もなみ、小室慶子、大久保朝香、絹川恵里奈、大澤修一、 檜村諒、阿部櫻子
計画期間	令和5年度～令和9年度 5年間
背景 必要性	重症熱性血小板減少症候群（Severe Fever with Thrombocytopenia Syndrome virus：SFTS）は SFTS ウイルスによって起こる感染症で、西日本を中心に患者が報告されている。ウイルス保有マダニに刺咬される際に感染する以外に、マダニを介さず感染動物との接触による感染例も報告されている人獣共通感染症である。本県における SFTS に関する疫学情報は非常に乏しいため、マダニ、動物、ヒトについての調査を実施し、県内での SFTS ウイルス浸潤状況を評価する。
目的	マダニ、動物、ヒトにて SFTS ウイルス感染状況を調査する。その他人獣共通感染症についても必要に応じて調査する。得られたデータに基づいて、県民や関係機関に注意喚起を行っていく。
計画内容	【1年目】検査体制を整備し、動物検体確保体制を構築する。マダニ、動物検体、ヒト不明熱患者検体の検査。 【2～5年目】マダニ、動物検体、ヒト不明熱患者検体の検査。 【5年目】研究成果をまとめ、県民や関係機関へ注意喚起を行う。
研究目標 (達成しようとする成果及びその活用方法)	県内での SFTS 感染リスクを評価することができる。既にウイルスが存在する場合は感染リスク低減のための情報発信を行う。SFTS ウイルス未浸潤の場合も、動物やマダニの移動で持ち込まれるリスクは常にあるため継続してモニタリングする必要がある。
所要経費 (概算)	経費 内訳：旅費 150千円 原材料費 1,350千円 (1500 千円) 需要費 役務費 使用料 その他
実施上の 課題及び 対応	動物検体確保が課題である。畜産課及び家畜保健衛生所からイノシシ、県動物指導センター、水戸市動物愛護センター及び民間動物病院からイヌ及びネコ、ペストコントロール協会から駆除害獣の検体分与を現在協議中である。
備考	

(様式第 10 号)

事前評価結果報告書

令和 5 年 9 月 2 1 日

衛生研究所長 殿

茨城県衛生研究所評価委員会
委員長 木村 博一

調査研究課題	茨城県におけるSFTSウイルス等モニタリング調査		
評価項目	評価	意見	備考
①必要性	5, 5, 5, 5, 3, 5, 5 平均評価点 4.7	・今後、県内でも発生する可能性が十分あり、疾患の重篤性から考慮すると重要な研究である。	
②目的の適合性	5, 5, 5, 5, 3, 5, 5 平均評価点 4.7	・本疾患の法令の位置づけから、衛生研究所が主体となり行うべきである。 ・ダニ媒介性の感染症の伝播スピードは一般的にこのように遅いのか？全国的な調査で動向を把握する協力体制や情報ネットワークについての2点について説明が有ると良い	
③計画内容等の妥当性	5, 5, 5, 5, 3, 5, 5 平均評価点 4.7	・現状では予算が少ないが、成果によって特電などの予算獲得につながると思う。 ・他の調査との検体シェアや、調査対象種の拡大により、労力・費用対効果は更に改善できる可能性がある。 ・費用対効果については、今回の計画書ではわからない。	
④目標の達成及び活用可能性	5, 5, 5, 5, 3, 3, 4 平均評価点 4.3	・今までの研究を踏まえ、技術や機器も充足しており、成果達成は十分期待できる。 ・マダニから得られたウイルスゲノム情報と患者（将来発生する可能性あり）から得られたウイルスゲノム情報は疫学的に極めて有用である。 ・県内での感染リスクを評価することにより、県民に対する感染リスク低減のための注意喚起が期待できる。	
⑤総合評価	5, 4, 5, 5, 5, 5, 4 平均評価点 4.7	・治療方法が未確立のSFTSについて、県内の病原体ウイルスの浸潤状況をモニタリングすることは、感染予防対策の観点から重要である。 ・ダニ媒介感染症に新たな光を当てる研究で意義深い。 ・人検体についても抗体スクリーニングを期待する。早く倫理委員会を通すこと。 ・リケッチアとの研究と統合すべきと思われる。	

⑥計画実施の評価 A：実施相当 B：計画を見直し 実施相当 C：実施不可相当	A：7人 B： C：				
<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 15%; text-align: center; border: 2px solid black;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;"> 最終評価 <div style="display: flex; justify-content: space-around; width: 100%;"> A B C </div> </div> </td> <td style="padding-left: 10px;"> 評価の理由や助言等 (評価「B」の場合は見直しを要する事項) </td> </tr> </table>				<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;"> 最終評価 <div style="display: flex; justify-content: space-around; width: 100%;"> A B C </div> </div>	評価の理由や助言等 (評価「B」の場合は見直しを要する事項)
<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;"> 最終評価 <div style="display: flex; justify-content: space-around; width: 100%;"> A B C </div> </div>	評価の理由や助言等 (評価「B」の場合は見直しを要する事項)				

評価点 1：不良 2：やや不良 3：普通 4：やや良好 5：良好